

平成31年 年頭挨拶

飛翔 CONYX2019 ALL FOR SMILE

～期待を超える感動を

ダントツサービス コニックス～



代表取締役社長 吉田治伸

年頭に当たり、皆様方の益々のご健勝を心よりお慶び申し上げます。

創立63周年を迎え、また新たな1歩を踏みだしました。50年以上にわたり、当社をけん引して下さった吉田銑三会長が昨年ご逝去され、今年は、「新しいコニックスは任せた。」と力強いエールをいただくとともに残された我々も「亡き会長に恥ずかしくない会社にしていく。」という意を新たにします。どうぞ皆さま、ご支援よろしくお願い致します。

さて、米中の貿易戦争が勃発し、景気の先行きが不透明なか日本国内では、天皇がご即位され、消費税が10%になるというエポックメイキングな1年になる予定です。コニックスはと申しますと、創業63年最大の変化を求められる1年になるのではないかと考えております。進む人員不足はなかなか解消されず、最低賃金のアップに代表される賃金アップはお客様からの料金改訂を上回り、コニックスの利益を急激に圧迫しております。また、働き方改革に代表される労働規制は人手不足をより圧迫し、業務遂行をままならなくしております。

そんな3重苦、4重苦のなかコニックスはどうすれば良いのでしょうか？

まずは、我々が仕事を頂戴しているいろいろな業種で「期待を超える感動サービス」を行うことではないでしょうか？料金アップをお願いしたり、消費税アップしたりする状況で「コニックスにしか任せられない。」と提供いただけるサービスを提供し続けることが一番重要であります。

そして、それと同時に進めなくてはならないのが「省力化」であります。極端な言い方ですが、もう人手が増えないと覚悟を決め、いかに同等のサービスを少ない人間で遂行できるかチャレンジしなければなりません。

そして、当社の成長にとって不可欠なのは、やっていない事やまだ市場のある分野へのチャレンジであります。ホテル分野への進出、工事分野への充実、労働集約からコンサルティング的な仕事の拡大、外国人労働力の活用…我々の仕事の周辺にはいろいろなビジネスチャンスが転がっております。一つでも二つでも新たな原石を育てていきたいと思っております。

いずれにしても、淘汰は、良くない会社、変化に対応できない会社から進んでいくのであります。1番の会社はなくなると業界1番を目指して頑張りたいと思っております。

さて、今年のスローガンは「期待を超える感動を ダントツサービスコニックス」にさせていただきました。サービスの基本に帰り、より本質的な事を磨こうという意味です。

2588名の当グループの社員のそれぞれが、他の誰かを幸せにし、それぞれが働く喜びを感じる事ができ、64年目の今年が会社にとって今までで最高の1年になる事を祈願するとともにその実現に全力で努力する事を誓い年頭の挨拶といたします。